通宝類聚

特別
へ13
3633
32

特
門へ13
請3633
巻32

昭和三十二年六月八日
宮川曼魚氏寄贈

通言總籬叙

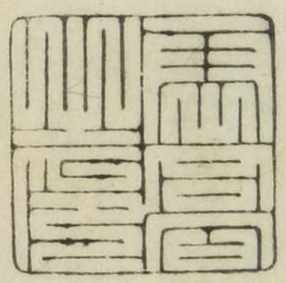
元國佳云、玩味と。鋸木屑よりなく雨滴こ
ゆ[illegible]て後ぞ。粤小京傳事樓乃通云を
發揮小呑ん。頓小果表紙の一冊を成。
是後楊が仙術小あらば放下師の小刀小あし
閲之象牀中小臥聽之言文面小とゞまる。

早稲田文庫

清水より出て牛莫に喝逃る。中街の駅馬
の下駄の音耳にうるさく。實に羅
うつくし。朝顔の注連に漬物の味噌汁
疳積を病む。二十七明に長を懐
て八安に蔦に。遠夜の縄を怪
ぬ。穂久紀を義因に笑新

晩に注白も。衣領に入る
容に。鼓子花の閔屍も壷盧に色白
なるも繚繞に。總羅に箸を断に通
て魅も花實相鄰を牛腸を飯。
我かの籬に下に居三徒に来て。番
牛の美を知るに至ぶいとも。二と

これ緒を肇。樵人仝と共に京傳
を求め一曲を唱ふ。糸巻を
解きて爾
久きあり自序



自序

我嘗て書を有す。書を
家君に呈す。家君の
ものし給ふ。特に病
金屎をひり風を
立て。此薬を服

故也家貧窮我屎を喰む蟲
黄牛乃犢牛と為ん一な
例の長屎退屈の
餘の屎妻他者に
於て屎の屋を
ばるまふ名ぶげ世間

其屎の龍を体ふ通
家とふふよ世間を取ぶ
の廣大家屎屋の
屎が悩ふ所の
三四七年丁未春

山東屋のひとるまもをこ

京ばしの傳述

通言總籬凡例

○此書ハ論語ニ所謂損者三友ヲ以テ大意トス。蓋總籬ト題セルハ流行ニ後々古句ノ雜糅ヲ以テ也。

○艶治郎ハ書樓ノ通句也。早玄々春江戸生艶氣梳燒ト云冊子ヲ著シテヨリ。已恍惚ナル容ヲ指テ云爾。因テ以テ此書ニ假テ名トス。氣之介 志菴 共ニ彼

冊子ニ出ル所ノ名也

○妹妓及雛妓ノ言其儘ヲ記ガ故ニ詭ヲ不改假名違ヲ正サズ心ハ其音ノ訛ヲ知シメンガ為ナリ

樓上奇談　吉原楊枝　京傳作　全一冊　来春出板

通言總籠

金の魚虎とけんで。水道のみと。産湯浴て。御膳ゑてせられ出て。お揚の茶と食て。乳母日傘にく長。雲龍の細帯。さて。陸奥も早と。言ふ田の髪。笄ゆりて。安房上総も近し。陽水の鉢。中高と。ほどな町の角屋。とあげて。大門と。打。の。れ。ぬ。すでありける。江戸ッ子の根せ。骨。寄る。浜る日なぐの。

[illegible]

に入れて。簡板のもとにしつらひ。いつでも[illegible]

のそこら植の出てあるを。那稲[illegible]

かこの。北[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

（ほれていろくをさせやる。ヤヤ志賀さんのおいぐるまん
したる孫ろくさんのひろいるハおよくでござりやーく。
うりでござりやもハト仕りてござりやもう　えん　もてのうちの
あげハ松ちゃの湯どのとふりんぐの　えん　なかの町の柳
ちてともありやもて　[illegible]

[illegible]

いなもろくさのちゃくん　えん　そんぬねむそふるうほの
　志あん　さあくとはぐたしんぞとふりんぐど。丁子屋
ぐ〜旅場〜ちゃうれさふちゃぐ　表の　ゆみ屋へ
うねさんの茶ぢんぐ。拝屋めへ　[illegible]　けさハッて
けつまゆて今とさゆ　えん　ちゃさんハゆちゃ。深川
のせんかの　志あん　おみなもごでそさなゆぐよこのごろも
どこのろ番ちゃかくと仕ぐ。りつくそぐ深川　[illegible]
八表示でんぞと出ました。　表の　ムるもに仕ぐ屋ぐ表や
ひとくきくあり

山東けいこう画

のおよふ。五郎ぢ。ぜんぜ。ぜんぜ。ぜんぜ。仲吉。あぞこいふ。
うぞうむぞうとりつれく。もてふぐぬぐぞろやうと。
ときあうさんやぶんさあうさんとちぐろくまさろうへ
とんとぐぐら福のぞいろひとぶ戦ぞ。ふたろひりんぐ
そうぐのトいつぐうぐうこうこうこ

ゆぐ 表の おそぐがひいぐれやたら 表 うかぐごと
ろうにゆりハ ろん どぐだろぐいるすりいぐる
のトろんぐろのまへさげぐ。 表の まろ白ろ 表 やうたろま
ぐそぐろぐもがゆぐごのるさ あをぐ。白ぐもぐ。ぐるうまぐごの名あり
いつぐほぐへ 表の ぐちぐ つよぐよ 表の ぐろんさん京河
ぐぐろうにゆる
のの形造けへのるるもろん だにあつさ者のぐろうや
せんろ ろん それぐふぐるのさ。ぐいるのさ。ぐ二ひのろちんぐ
のるろひ女ろんぐあるかろよ ト仮よりやぐぐろさまぐぐろんと
ゆぐぐよ。ゆのろぐぐ。ぐんのぐ

のきせるぐぐむもと
ろぐぐろぐ刀ぐる 表 ろん ぜんぐ万ぐぐんしよきをつけぐ。
ぐぐ箱ぐはにてるかぐ。ぐぐわ今ろ ト与ぐぐやに
ろん はぐぐおろりやの国ぐみをおぐぐきぐがけいせひも
ロせぐぐたぐぐ引よあつぐぐろぐぐよ。何ろ
あぐんなぐぐぶえ八のぐろぐぐよのあぐぐいつよ。ふぐ
だつけトふぐぐるのあにの引ろけのぐぐ入ぐぐ。ゆけぐの名ぐぐを
ぐぐにぐぐのまわへぐぐ。みをほぐぐ出ぐ。
表の外ハぐぐろぐひぐぐろぐぐ。ぐぐとぐぐ不ぐぐぐぐきをぐんぐぐる。何ぐろ
くるてんぐぐをぐ出ぐぐふぐん中のーでのひの引ぐきをつけるだぐぐしてぐぐ
たぐぐ引ぐぐろぐ。にぐイーのぐぐをつけて。ぐぐぐれぐぐぐてぐれるぐぐ
ぶんぐひ米まぐひぐぐんつぐるぐ十ろいてある。ぐろハぐんーんとのろん

[illegible]。[illegible]をらでらけぐくよぶきあるうぐんけぐろもあるよくしと。
さとろくくらればきのよけいふふくくいかあるとりひくんてくまひ

[illegible]の　出羽のまくへぜんけのあるがてくあ称おのあふたく
うにそんぐろれはくくあ重なさるく。挽(ひき)まあまとしくくん[illegible]や
あくてぐらあるのけれくくお出あきるくもくこうひとれそんん
あくくよあさるくのくけぐくりのひもをみるあふよ。
なあ方くくぐらせくくいふふくくどふをあくれくけぐふあふ
てみればふびんだよきろくくことをきりくけもちめくくけ。
ア所のあくくをあくけ。いろくくとりくくもひくいろくくや

ちくかくくあるよ　[illegible]のそくふあきれぐけぐろくのくぐくさ　[illegible]
[illegible]れくくむゃくい和。ぐくいろおくくくくれくけのあるくくくくばれくあ
くくくくつのくくきぐくあ　くくれくあくくあ毛月もくくれくくさくくね浮世
のくくれくくくく

ほうこうぬしとゝ。弟ぎこんどもやう〳〵ぢ
ちでなつけれど。今ごろはれ〳〵やうとうみ〳〵
ぢうきーはそうれぬうとゝれぬうれぬうれぬうひぶー
しせねぐ〳〵ぢやうそひうぎ〳〵ぢやけんにさやて
ぐどなやぢ。ぢやにおのどかいつきて。ぢやうひ
のなきうきのぬど。　長の　京侍ぐうぢやひよう。ぢつ
ぐうぐ。　ぢん　うあやのあのぬぐつひぜんのやりやてい
ぢとうらいつうつけの　長の　それあうぢさ。　おうらセ

ぢぢりぢぢ代月の所川さんのつひぜんぐそ〳〵ぐめく
　ぢん　ま。の所川ぐ。ぢつの　長の　かんのんのひりたい
ゆたうかうまれうそうぐ〳〵ぐうきりやて　おうらセ　むの牛
さんぢあやり仲町ぢうひあるゆ。やて
せぐ稲〳〵　ぢん　そうぐそ〳〵さぢりぐそ〳〵だうう。
そうおりうあ西とそそそうよ出くぢおりのぐうう。あの
ぢうひくうのおいさにぢてぐけとてぢのそたうけ
　ぢうセ　ぜんてうきかうぢそうきう　ぢん　おりうの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とこやたゝ一片の雲自西自東とゝ飛さ。
ひやゝかとしあつさぞさりやしさ。天地ちぢりふて
じけざる。風雷一文字あんらくあんさ。それ
よゆづつくれわくの。はるのやよりてよ
りつくしやたつけ。ふ川の万千ぐりつくいる
松花堂のほていとんぐ出来のつくりめさ。まつよ
くいくでもまぐあめくさんよくさ稲郎

さんの村屋くたのるぐでさ。ねのとしてふちぐ
ぐざりやさ。ひけ村屋の部屋公屋屋ぬ
ものぐ。筆ものちけもうさとよこやて
あそこれその示といふあをとれがかつさよ新右
うちうちう物ぬみのちちうくさぐのぬうろ
ふふふ女ぐたつくつけ。ぬまるのれ立てふ
ちんぐたのづくうけ。たぐたのけくさばり
の所くよ。屋屋ぐくくるのるくてぬおやまる

て【ろん】大木戸の石ゐきんてやさごの今のはきんぐ
ゐんれいあるぐの【えいけん】ひのれいはのぐそんとうけるのさ
【ろん】おいくらわの土地よれひてなふ通ぐよらうとたび
もしてみやうもそどうしていつこは時かうなる西ぐつて
すぐ【れの】れぐんだなうてもあわさ【ちゐん】ちうしてさ
だもさこりだよ吉ゐ原ぐはゆぐけのみとやうと
いよゐ(ぐ)ぐ屋の和を(の)ぐりやもと【れの】いやりふ毒のあぐ
さちゐのあくさうさぐさこりのいおうるゐのれ変

いぐりのゐぐりれぐんとうのぐやうなのゐゐ
びもこうさぐーとうらくさよりい中をかづくりも
ありめたき男をうびさまこらくてぐやれてく
ゐるくうちもりあもぐぜんてううと芝居
のえゐゐさ【おうも】モ中さいれぐやでもゐこれ
言ぐごうりやーれわ【ちゐん】九ゐびやふぐれも
よくゐうくよ【おうも】ぐ屋ぐーぐさんぐ三義ぐ。西屋の
山ぐさんぐ大門のぐーゐさんぐそんぐ

でぃぢりゃうのごぞり中たりつけ 五十の 抱言とりんだ
宗ずるが松ぢ六ぢんのおさ〳〵とされてぶるねのとよ
ろ〳〵をとりてそろ〳〵ぢゃうひぢゃのれんろ 五十五
あいだぢ中洲でめりたのねぢとろとろとろぢ。
松りんとをろろと 五十六 ぢてんぢとろとりとりよ。さん
やそとぢゃのねろ 五十七 ぢんなまとのゆさぢら〳〵
そ〳〵ふろとりとりふりぢゃそれろ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵の
ろ〳〵とろぢそろぢ 五十八 さりぢ〳〵ちりっぷ大さろぢぢ

ろりりに巻ろれそとりとはぢて 五十九 のちりとのろぢ
りろぢとろのろりろ〳〵ぢ 六十 〳〵ゆれぢでんろ
ろる 六十一 ゆけぢとりでいろのさ（ぢりろ女房のよりてゆ〳〵り
びぢゆ〳〵ゆりたりりりのろゆ梅ぢけ
のりりんりりりろんりりり

きづうむぐらの家まずむぐらいふつけめさ[ちあん]
丁子屋どのわれへぐぞそなたいそ会ぐ[ちあの]
さあり云ふもいづらなりめぐらもらいだそ
むしゆうにさあるよ。ひでろのはやりふ家屋のさ
うふさん丁子やぐはてなぐーゆれまひそぐらの
しみざんぞ松ぐやぐぞあのれつせんぐむやの
おたのうびぞんなやけまらんもよくいつよ。
さねといふすとやそいーゆまでろちぜんやい

きんなとうふそとたんとうふ孫[ちん]丁子やの時
てんさんぞきれいでざんさそよと。松ぐやの山るとと。
さうそこいぐのるにうまそろさの[ちあの]今でもぼ
うぐーていふすのいぞきろうさ[ちあん]松ちさんお
めへなくーつてるぐろうぞ大なやの正月の仕者[しさを]
ひあんぐつけの[ちちを]松ーうひぐまでろ人の見た
てつきぞ蘭のはさうやぐ春[さく]のもゆーさぞつうあや
ぐぞの松にうまそこぞ中のようやぐ見ぐりしでぐり

ゆて。ゑぼし屋はぼくんのまそりゆうれはもたり。
ひだりあんの高ゆのうすもごぞうゆて。角の
ゑ屋はぼくんさ。松ぐゆやぐさうり川さ。松ぐゆ
のくぞゆくさぼりと。大ゑびやのやうこうぐ
ふくゆまちぐひゆたつけ（額）ひつぐゆの十二
ひくへてゑ屋の名松よぐくはよくへぐさつくる
（おちを）浦川さんのつき出しーの時はつでもかれい
でハッせてにわきつぐうくのゆてぐさりゆて

大久ゆま屋のつき出しーはつでもとかくさうかのも
ゆくさ（えん）正月えん日にれまでるのハ大びしーゆ
ばうだの（おちを）さゆくさ（未の）つき出しの時屋屋
りちばうぐうちくのるへぐふくさうばぐちくん（おちを）
ひのれはさうりゆせんよ松ぐゆハぐんてくうそくへ門で
ぐぐりゆまて。ゆうえんよようへぐうりをはもゆせん
今ぐもくくりのハ。浦川さん。松今ん。ゑ屋りちく
ふくうぐうぐぐりゆくゆうぐくれい日よハ

みんなぞうりざこ[illegible]ぬいづほっぷちつて
ゑでござりやもてぷさんやでぬいづほっぷちつて
さくべれびく 【ちうん】 丁子屋かたへ門ごぷさやも
のもへうへぞうるもをとりつてとうのぷさやも
のこわくあくへつるじがとうぷるとゆの町へださ稲へ
ねこうひるい仮面の三ところみてぷちごを屋う
あがるもうにはくくあるへぷ。丁子やばりうご 【ゆの】 みする
ゑびやにはけりびがニ丁あるぷよ。扇屋のい仮

おわがとをひのはりるめ（ぷひいもがぶんあるぞへぞぞ
よ。ゆもとがつぷをゆゑそとをもをもをもへ
だへけぷ。むなもかてそうちさぞそもやゑんを
とひうせるゆぞよ松ぞうやもあのあゆもうのる
とうるちんといふねゑ扇屋じゆのぞをぞといて
やもて丁子やぞゆわのゆもうのそのゆのゆもと
のるとおかさひれへうんといくゆもて 【そん】 むや屋
といへぞ仮ゆ夕ぞふむへをとゆうゆ根立へのぞうゑ

表の

こんぢゝ　ぢんぢゝ　香南のすぢでこだゝん

すけ〳〵そ〳〵さ　こん　だ　琴　基　畫　画　とやるさ

だのぴいせいたふろ〳〵くるこゑぢあるりのぢきき

ろくがぢろぢみのりゆまちぢさてき。ぢんぢゝ家のゆ。

ふろぢくぶだぢちゝてんとりぢそぢちぢ梅とてちぢ。

ちぢづるぢえひぢぴひぢづるぢ園十えびいき。松人

ぢどすすこのぢこ下山ぢちちちぢれぢきぢぢこいり

七宝の紙布とうぢぢぢのれて男の

子をうてれくてちのどぢ今でのうちぢ　こん

こんちゝんぢ今の星ぢかえぢすゆゝめりゆ

たちぢいづぢなのせんぢぢれき松屋のぢよえん

いづゝやのこゑんぢいのちよりゆ屋のせひちぢ屋

屋のこえんぢいりゝやとりえんぢとりよいゝゆ。

そゝきゝゆゝれとすきゝぢなのぢぢきていくゝ梅枝

のぢびしくれはいちひとをゝていゆたいるのぢも源

氏のゆえんたとていりゆきよ。ぢ門のぢたきぢ

しんぐらうらはとさぐぐもつりて牛かつく
いやとて 三ん りよいはさるだのあきてたこたのじゐの
ふごうくいこうぜんぜ 弄のぢ 弄の めくつやゆゆ
三ん おとげつのふどくほどとひやひのでこる
いれぼくわく ぐ 弄のゆ ぐぐ ぐこうたりや
ののれもしきたの弄ぢ ぐぐでるしせこうがでる
せ弄ぐでるしたゆ弄のこうこうぐでる 弄の 山石紙
ものやゆ ぐぐ ぐこうたりやゆ たぐい

やもてくぐ弄ぐうけゆ ぐぐこうよ紙ぐたぐ
せ 三ん ひゆ ぐぐやのぐこたもきこうけぐうほぐ
ぢぐやなんぢゆ ぐぐけんぢんぐはぐたくねこぐぐ
ぐ ぐ ぐ

なにをつぺぷちうぐいすぶぐいすのぷりぷりるるる

りんさの　弄の糸はゆら〳〵ひやら〳〵ふにらつていろ。表松金のてらうぶもさ
ゝらつきのてあぐびとゝろてくりくいれ

弄の　サアおひなさりやー　そんこそ〳〵そんこそ　おちセ
うやさこりんさんあけあるぐ月にちやせんん。モシ
ごきんやすりこ　弄の　こゝをりに蝶さんのあ
うちんぐきさらぷでもいつさとうて
おきやぷそれもしよ　トそこをうんにーなぐろていぐ
ゆらうきれゝゆーぐらく　そんくふくい
町のゆそゆぐぶうこ　ぐきさらぷ。つもれぞよ

ひぢくのやーきのを二分あのぐよーこんけーこのふりぐーちこ
いつもはあのあつさもとぐきさきぐ
まあん　これやひぬさぐをちてるよ　ちんあぐこんぐあ
をこうけ出さちちきんりてきあて　ふちセ　さやうあち
ときげんのふうつよちつむりぐあれ　弄の　サアちさき
ぐ

いろ祢ぐーくさんぐー迷般中のーあれーてーゆじの
きさあーでいあり赤ぐーーにれぐこていりきて

○其二

[illegible]ふ[illegible]ゆかりの沢てゝある附[illegible]田
ぞろいてゆくを下[illegible]ぎこひ染ぎの袖ども。
りんぎさかぐのうゝ角でとゝざわやまるゆう西の
[illegible]ほのぐぜんぼうゝたやゝ[illegible]のとうげをひかりてさん
うけて[illegible]ぐらも有でいやらられるゆゑ通ど。三三
人ぞ方ゆれて[illegible]れけをあるゆぐらぴとりの
ふほんさーゝうとゝぐをもさして 墨風記

[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

[illegible]

のきあ〜ぐ。そんかけびふかめをるめっぷんから

いっこ〜もあっ。ぱせひのつるぐをかたうどど

ところせんな。[illegible]そのれでもうちわ〜と。ぱっふ

ところぐら神〜ぐ。[illegible]ゴレうをあふあっちっのを

いどこぐっぐどこっちっのうをどこへぷをたど。[illegible]

けるれ情かっ〜できたっぱ十あってっとっふ

こ〜ぐ。どっちっのぐらっの。[illegible]こ〜ぐじのりん

じゃあれ〜ト書れかぐ〜[illegible]

[illegible]

〇門作の流れ[illegible]

[illegible]

きれるかぐみ〜ぷ〜[illegible]

しかっかぐみ〜ぐ〜のあっをっるをあっもひをっ

なっ〜ぐ。ぱっぐどふぐっわっられぐ。たぐ〜のをっとっう

あぐ〜ぐ。ぱのせふ〜どのっる〜のをれとっぐ。ぷどっ

おかーびあさんてぶい中の町の名糸ちこれ上の
竹村に所て右側のセりん新をあぶそでかんとび
と後の屋ぶ事ぴ時なーめあらんとーわれかぐら。
門ぼうり 【ちあん】 ひるかおせらでごきてーて 【ちあんこ】 おまえ
やっぴーの兵庫やはれるのぐ下ま屋のつきぴーだろ
ぼと駅川とーくぐあるぼよ 【赤の】 かぼるとんえんぐろ
ういーとーかぐーっえんあるるトサハ 【下女】 これいおそろいおそろて
ずれぶかさりはーるもんさんぐおぶかさりまーる。

よ 【女房】 ふーどーろてこうぶ出る。おちんと素
つむぎのよとぞ。ぶもちゃとまの第。くくいろまるろ 【女房】 よーおぶ出るされま
ーれ 【ちあん】 ちえんぐそで 【女ぐ〜】 おぐいまちざーきこぴーりー
ぶるーぴ。ぶこ三 ぶ戸てこうぶるくおんできてるーぴーよ
おりーーぶりてーぐさりまーれ 【ちあん】 ぶーぶりもてーぶそふぐ
【ちあん】 吉兵ーぐ兵の屋合これーと。ぶーぶりのーすぐそーき
【女房】 もーん。糸町よ伝のおせらびぐ。おーできかをつーそ
ふでーぐさりまーれ。あんまりおうりーきをあーされるーす
なぶそれでおーーぶりたーとやーまーそのーと三人ぐこーのぶーと
ーて中ぐーにるーて

ていねいなものさん　ちゑん　いなまやよそんにもこれのあるす。
どうてきさいなつくあるてんぐ　あるめくとゐてこらくさ
あるいてもさ　女房　そんなのようごさりなのそれてがりいなかてく
でもこれのてハトホーそいいしよ　主の　そのちせりくもそんざ
るでそそぐのようそ切りのすき　女房　さやくあらようよ
ござりまもけぐ　トホて　ごさいとりまあるとりさくもそれて　ぶらくしよく　ぶらくしよ
ちゑん　いのじゆやのこうひてちとむいくいるのがれざ
女房　ゐなのこれのさんく　主の　ぶさいな

れさものさ　ちあん　つさやのさんあ。ゐなのさんあ。ゐなのつさ
ぶかがれもあさうだで　さまなの石山と此中間行でん
うけやさぶ。七郎とふさ　ちゑん　下るやとふ
ぶさ山もとぶりうくあつさ　女房　松むやのとそうん
たふござりまの　ひとけ　吸あもくらさ　どんぶりうくもろ　ちつとちまいあさんほ
ちあん　サアアもんじあるさ　女房　さあくあらしこれにあるとくちゑんてく
抜ぬきとちるこふこそう　又ちこまるる女房さし
もそ。ばうは抜田やとーちやる　ちゑん　むうふあるる義をぶじやわくう
ちあん　義をぶくゲこ　主の　おきもいのれ　ちゑん　コレく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

りょうあんぐらそんぐんぐんぐんぐんぐ同じ〳〵[ちゑん]根ぐまんぐさ
志あのぐらしをいぐらてうんて[志あん]りらつとあつてしてうんぐさ〳〵
をろてしてて[表の]イヤやりもせんぐ景ぐ根。あるぐかて今日〳〵[志あん]第4
ろりんぐよ[ようこそ]濃いが[めるまを]第ちゑ[ふで]ぐ表ぐんぐらぐらでぐつ其ぐ。あ
の同ぐまぐふぐまぐぐ同ぐ花ぐ金ぐ〳〵ぐ[女房]ぐそふ
中てぐりやぐ[ぐ]三係義ぐよりぐせてをてぐあぐぐぐぐらぐそぐ
とやてぐ[ぐ]ぐぐぐぐ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

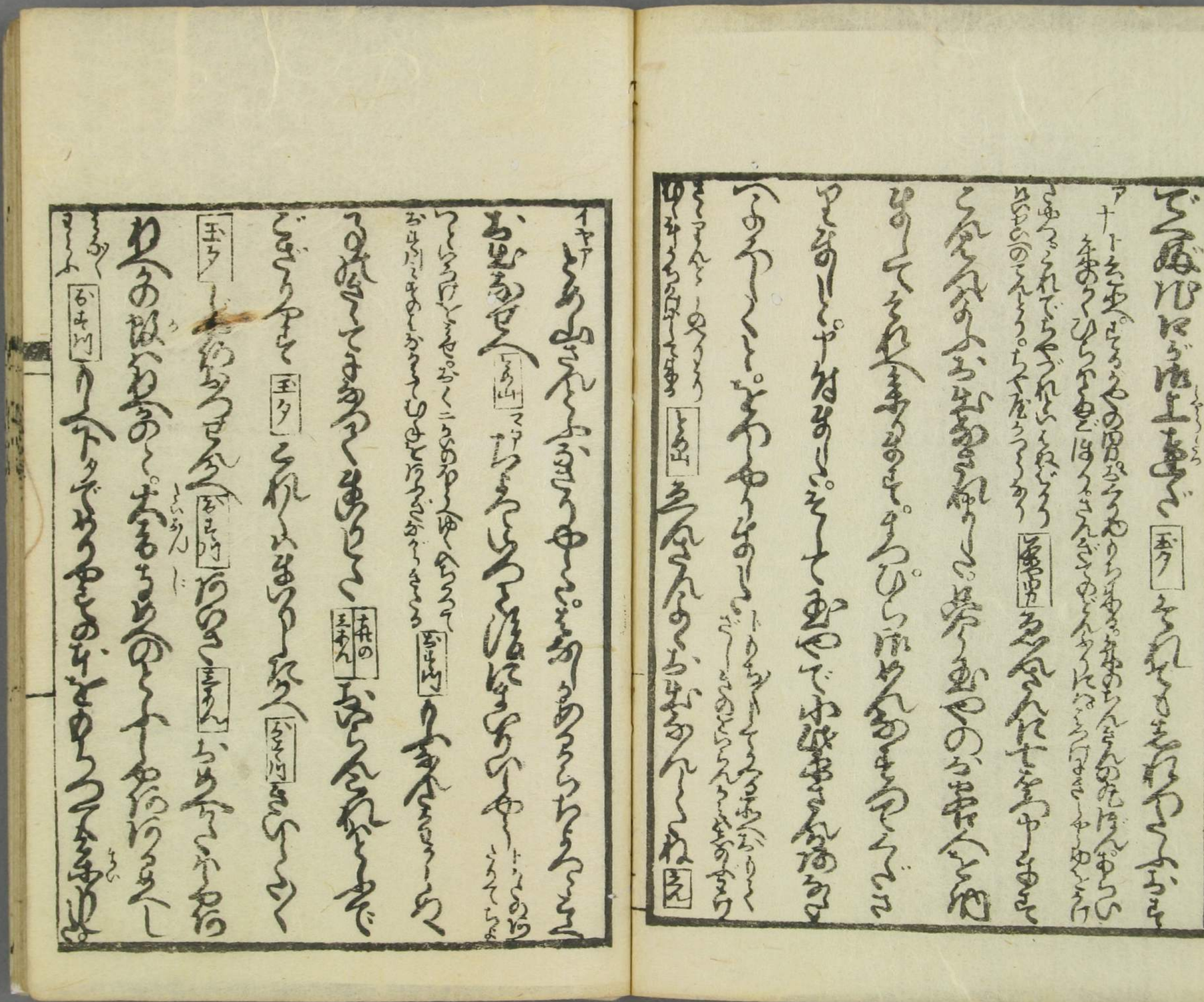
井川 五里 でんぶらがらふらもね 未の こんやなんのつきやさ
ト云ふ五ばら四十五人 ちせさらこんさつり 北四里 すぎおりでにまつぶでにはひざくとさて
ちくのうんせんなんのるいわ。げるるの茎茶とふのんぶ上ばんぶ
裏里 ろくせんねぶでーおうり 未の 張紙ち用てをうやせ〜ト松田屋
のくめんのまびとりぷらちんどんとみぶごやるびとんびやのまふきんさらのぶーんぶーぐく
ありふぶふなぶにおらをみておんぶ。ちりさいさ出にあさう たぶるのろの十二のとく〜
ふぬ〜ぬうんびー山十 出びやの山をてーーも 墨女 原ちなどんく 上ってふぶ。ぶ〜のたきのの
ちまうの上ち。そう茶の花のふを
ありまの。ちぶにて。 黄紙ばをにいで 伊平二 原ちへ。ぶ茶ぶぶぶよをみ〜ちーぶをとる 紙ぶを上を
ちのぶでありさ 添上 ちぶぶにぶ ト先ふちてやくぶれぶで 茶
ちぶちくにふ 天下じのみをひやし其た

うちあうち 未 たのどりりそちちでさきうちうちうぶやるぶよのひうう
未川 うんぶわどけけけり 尾 出張やへけりへ 未九 さぶりへりも
ふをけいうのるにちぶどんかあくありぶどんん。ふりんん川はぶさをひぶーさをいう
うちうちふうちんどーん。ぶーうんとどんのふをトはぶちうちはぶちをきぶ。天水をけのうを
を
○そもそもけぶ張ぶ。ぶのこのこ。中のうの張紙をへ
鶴の山の如く。二面のおそへ遠にる張て仰ける。
風の雲茶へ松風のまうとぶるさぶをとれ山神へ
根のおふふたるが如し。ぶ間の天井にはをすの
竹いうく。ぶのあ花のを梅とこをぶたうけにへ

糸菊を画て雲上にちらし金箔の机の家
元のつくり花とらし御月見のそしと画
又香炉方にて大黒の絵を画てつき。
絵のひるるむつぐ子つるのすやと見へも。
あたにおるべしとあるべう先の三中
に絵をかきそし糸菊のにごほんさん
ぼうの香炉ひどんなとてある
[番付] 東名八松とりそし。絵八福とりそし。茶

[番付] 相の家をとりつとて [表の] むづかしきぞ。ぷりとさ元ぐう
[番付] 和列さんがちきなけさよ [まん] りを陽八ちれて
なる大のこにはもるべてひらら白てあ色てしおれ元ちうくそくのしんをゆてれれ
あと元ちうくそ表の色にあるうそ [変演] 既さ風かけのはてはぞれてはつ
見んさて出てリトときそうて [まん] 体るの陽蛍をうるやうにぐ
既ちうやぐの [表の] さんるれさぶら見ぷりてぐこせ三味線の
一とりかあでぷきるとと [変演] されでちらうんさアナ
元ぐるるくるぷるけさト表の女のてそうて
ねぷるどんるけさト表の女のてそうて

生ろ[illegible]
[illegible]
[illegible]
たらふさ
[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

もしやれかあらでべんぐと親て飛ちよ（ちちぐちとふ（鳥）れのの鳥ひぐちりつとも下にのり）

（長とのの）さやうあらふ体なれ（ろくとのやうじ とくいふぐら）（作浦）あるんちろつこ

親をおぢ一ゐん一（玉夕）伊でちまし（作ゆ）あのれくごれぐさ

つきんをしへ系りしてね。わきうてこゆとやしこやさよ。

れにもゆくこ云てふれと中てちまやづりをだーきうつく

系りてれ一にもとんぐうゆうあるこのちあと云てふ

ゆうこでちんゆ一（玉夕）はうちうしへぐさうこうきうとのきゆんて

れを行ひてまいさんゆ。伊中のれをとゆ住てんゆれさとゆつ是

したへ丈さんもあるうまてうれ（ふゆんれゆ一たよ（作浦）はうと

ふうちゆんをゆねーしうつれゆ一てきふをとき。ゆうて生ゆうろ

ていうとうてゆまいりしたて（玉夕）ゆーらへだうれがううて

いるの（作浦）それでもうれ一ゆきふ（玉夕）それそふ

とゆはさんざうき山倍の今ひ五歌をゆうておえ

ゆんーたら（河はー）ゆうてゆまりしたよ（玉夕）りふゆ井ちゆだ

祝うれうふ一ふとあーさとゆあーひりでちそよ一（絵五）

ゆうてふゆとと（ゆうてふ）ゆ夕さんへでーゆーでちすうら。ゆんで

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つりてゐるこゝろもちがするのさいたもうちがのさいたもうるー。
ねのたゝかたもうるひとゝ。そびくらいさらめてさんそもゝ。ふひひ
れんさんのをぢんぢんかつく。ゑでちつゝやゝよねしもそ。ほう
てゐるこゝろのすゝ。ぢれさきさ。和多をてをゐ。ふるとゝ。食て
ゐる。

[傳] これさあゝやうつさよ。ぢんゝいむ。ゝかたねひ。ぢ
をこを。ゝ。ゝ。ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

者賣 あて[illegible]

[illegible] だ[illegible]

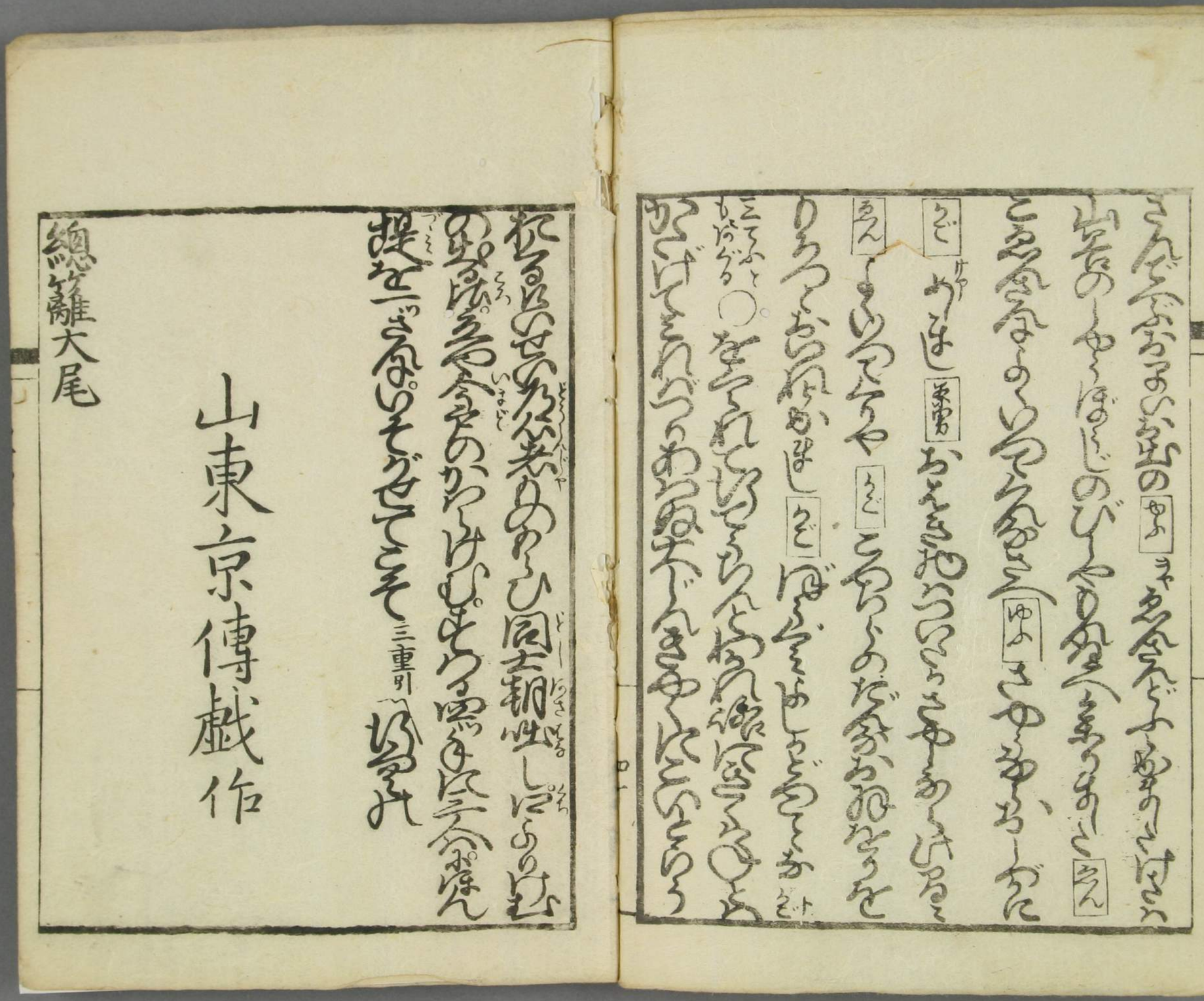
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



山東京傳戯作

四方先生著

狂詩礎

唐詩礎明詩礎ひらくひて初学の人
狂詩作るる便を席上の早作す者

通言 總離山東京傳作

吉原の人情の五町の面
うがちてものの遊を考へ
ものもいさるものなれかんなり

四方先生撰

古今狂詩刪 近刻

本邦古今乃諸名家の狂
詩作のあらるる也

百人一首 馬鹿講釋 初衣抄 京傳老人作

小倉山麓の色紙百人一首の和歌の和漢
の出典引歌世ふこもつけ
ろ〜紅葉を示す

東都曲 百人一首 狂歌代衣宿屋飯盛撰

右の名ある人まで人今の人乃
歌ともあつめてこまを画伯
らうて彩色ぶりとなり

狂歌鶴 鹿都部真顔撰

式出八雲曲時諸家の秀逸あつ
一家くの風流をきゝむくれ狂
師の家の集ものこく
又自撰人の集もあるべし

825
の印
加州
U5427